

オーケストラ・アンサンブル金沢

ORCHESTRA ENSEMBLE KANAZAWA

岐阜公演

CONCERT IN GIFU

指揮

広上淳一

CONDUCTOR
JUNICHI
HIROKAMI



PIANO
YUKINE
KUROKI

黒木雪音

ピアノ



サラマンカホール

岐阜市藪田南5-14-53

2026/9/22 火・休 13:30開場
14:00開演

全席指定

S席: 5,500円
A席: 4,500円

サラマンカメイト S席:4,950円 A席:4,050円

※学生半額(30歳まで)※未就学児の入場はご遠慮ください。

※車いす席は、サラマンカホールチケットセンターのみの取り扱いです。

PROGRAM

モーツァルト:交響曲 第25番 ト短調 K.183

リスト:ピアノ協奏曲 第1番 変ホ長調 S.124

ベートーヴェン:交響曲 第5番 ハ短調 Op.67「運命」

サラマンカメイト先行発売:2026年6月5日(金) | 一般発売:2026年6月12日(金) ※先行・一般共に発売初日は、電話・インターネット9:00~/窓口12:00~/

主催:サラマンカホール、(公財)石川県音楽文化振興事業団

チケットのお求め | サラマンカホール チケットセンター 9:00~21:30

058-277-1110

チケットのネット予約は公式サイト
「サラマンカ・オンラインチケット」で



チケットぴあt.pia.jp Pコード:321-467
イープラスeplus.jp / ファミリーマート

オーケストラ・アンサンブル金沢 岐阜公演

ORCHESTRA ENSEMBLE KANAZAWA | CONCERT IN GIFU



指揮 広上淳一 (OEKアーティストック・リーダー)

CONDUCTOR, OEK ARTISTIC LEADER | JUNICHI HIROKAMI

東京生まれ。尾高惇忠にピアノと作曲を師事、音楽、音楽をすることを学ぶ。東京音楽大学指揮科卒業。1984年、26歳で「第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクール」に優勝。以来、フランス国立管、ベルリン放送響、コンセルトヘボウ管、モンテリオール響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響などメジャー・オーケストラへの客演を展開。これまでノールショピング響、リンブルク響、ロイヤル・リヴァプール・フィルのポストを歴任、このうちノールショピング響とは94年来日公演を実現、さらに米国ではコロパス響音楽監督を務めヨーヨー・マ、五嶋みどりをはじめ素晴らしいソリストたちとともに数々の名演を残した。近年では、ライプツヒ・グヴァントハウス管、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ響、スイス・イタリア管、モンテカルロ・フィル、バルセロナ響、ビルバオ響、ポーランド国立放送響、スロヴェニア・フィル、サンクトペテルブルク・フィル、チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ、ラトビア国立響、ポルティモア響、シンシナティ響、ヴァンクーヴァー響、サンパウロ響、ニュージーランド響等へ客演。国内では全国各地のオーケストラはもとより、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管弦楽団にもたびたび招かれ絶賛を博している。オペラ指揮の分野でもシドニー歌劇場デビューにおけるヴェルディ《仮面舞踏会》、《リゴレット》が高く評価されたのを皮切りに、ブルック、モーツァルトからブッチェーニ、さらにオスバルト・ゴリホフ《アイナダマール》の日本初演まで幅広いレパートリーで数々のプロダクションを成功に導いている。2008年4月より京都市交響楽団常任指揮者を経て2014年4月より常任指揮者兼ミュージック・アドバイザー、常任指揮者として13シーズン目の2020年4月より2022年3月まで京都市交響楽団第13代常任指揮者兼芸術顧問を務めた。2015年には同団とともにサントリー音楽賞を受賞。現在はオーケストラ・アンサンブル金沢アーティストック・リーダー、日本フィルハーモニー交響楽団 フレンド・オブ・JPO (芸術顧問)、札幌交響楽団友情指揮者、京都市交響楽団 広上淳一。2025年よりマレーシア・フィルハーモニー管弦楽団音楽監督に就任。また、東京音楽大学指揮科教授として教育活動にも情熱を注いでいる。2024年第75回芸術選奨文部科学大臣賞受賞。



ピアノ 黒木雪音

PIANO | YUKINE KUROKI

7歳でオーケストラと共演し、日本はもとより、アイルランド、イタリア、オーストリア、オランダ、スイス、ドイツ、ハンガリー、ポーランド、リトアニア、アメリカ、オーストラリア、韓国、マレーシアなど、各国で幅広い演奏活動を行う。2022年、ダブリン国際ピアノコンクールにおいて、日本人として初めて優勝、同年、リスト・コトレヒトでも第1位を受賞、2023年にはアルトゥール・ルービンシュタイン国際ピアノコンクール第3位。このほか、ショパン国際ピアノコンクール in ASIA プロフェッショナル部門金賞、ピティナ・ピアノコンペティション全国決勝大会特級銀賞およびG級金賞、福田靖子賞(第1位)、ドヴァリョーナス国際青少年コンクールグランプリ及び全部門総合優勝、ハノイ国際ピアノコンクール第1位、国際青少年フェスティバルコンクール「アスタナ・ピアノ・パッション」第1位、浜松国際ピアノアカデミーコンクールにてモスト・プロミッシング・アーティスト賞、岩谷時子賞Foundation for Youth受賞、など国内外で多数の受賞歴を持つ。関ジャニ∞THE モーツァルト音楽王No.1決定戦優勝(2連覇)。2023年度川崎市アゼリア輝賞を受賞。これまでに、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京ニューシティ管弦楽団、読売日本交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、アイルランド国立交響楽団、イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団、オランダ放送フィルハーモニー管弦楽団、デンマーク国立フィルハーモニー管弦楽団、リトアニア国立交響楽団、マレーシア・フィルハーモニー管弦楽団など、数々のオーケストラと共演。また、ヨーロッパの国際音楽祭への出演のほか、2024年にはコンサートヘボウおよびカーネギーホールにてリサイタル・デビューを果たすなど国内外で活躍。カーネギーホールには翌2025年もリサイタルで登場するなど、世界各国から実力派ピアニストとして熱い注目を集めている。昭和音楽大学卒業、同大学院修士課程修了、昭和音楽大学附属ピアノアカデミー修了。これまでに江口文子氏、大友聖子氏に師事。

管弦楽 オーケストラ・アンサンブル金沢 ORCHESTRA ENSEMBLE KANAZAWA



1988年、岩城宏之が創設音楽監督(永く名誉音楽監督)を務め、多くの外国人を含む40名からなる日本最初のプロの室内オーケストラとして石川県と金沢市が設立。石川県立音楽堂を本拠地とし、北陸、東京、大阪、名古屋での定期公演、海外公演など年間約100公演を行う。シュレスヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノフェスティバルなど、音楽祭からの招聘を含む20度の海外公演を実施。設立時よりコンポーザー・イン・レジデンス(現コンポーザー・オブ・ザ・イヤー)制を実施。多くの委嘱作品を初演、CD化している。ジュニアの指揮、邦楽との共同制作など育成・普及活動にも積極的に取り組んでいる。ドイツ・グラモフォン、ワーナーミュージック・ジャパン、エイベックス・クラシックスなどメジャーレーベルより90枚を超えるCDを発売。2007年より2018年3月まで、井上道義が音楽監督を務め、2018年9月より2022年3月までマルク・ミンコフスキが芸術監督を務めた。2022年9月より広上淳一がアーティストック・リーダーに就任した。

公式ホームページ <https://www.oek.jp/>

サラマンカメイトのご案内

特典

- チケットの先行販売
- チケットの割引(1公演2枚まで)
※対象外あり
- プレミアムシートを限定販売
- ダイレクトメールによるコンサートのご案内
- ミュージックショップでの割引
※対象外あり

申込方法

窓口および、インターネットにて受付
※入会申込書は、サラマンカホール チケットセンターにて用意しています。

年会費 2,000円
※年会費の口座振替もご利用ください。

交通アクセス・駐車場

自動車

- 名神高速道路・岐阜羽島IC、東海環状自動車道・岐阜ICより車で約25分
- 東海北陸自動車道・岐阜各務原ICより車で約30分
- 無料駐車場完備

公共交通機関

- JR岐阜駅(北口)より「岐阜バス」で約20分
- 名鉄岐阜駅より「岐阜バス」で約25分
- 岐阜バス:「OKBふれあい会館」で下車
- JR西岐阜駅(南口)からタクシーで約5分
- JR東海道新幹線・岐阜羽島駅からタクシーで約25分

終演後に西岐阜駅まで無料マイクロバスを運行します 正面玄関前(北側)から出発します。

客席のご案内

全席指定

ステージ